

2014  
選考結果

個性が輝く“ひと・まち・暮らし”づくり



### 中央ろうきん助成プログラム



中央ろうきん社会貢献基金  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5  
フリーダイヤル：0120-86-6956

r100 PRINTED WITH SOY INK  
この冊子は古紙配合率100%の再生紙  
および大豆油インキを使用しています。

# 2014年選考結果

今年は、応募件数228件の中から57件、助成総額1,870万円（内訳：スタート助成54件 助成総額1,570万円、ステップアップ助成3件 助成総額300万円）が、選考委員会による審査の結果、助成対象として選ばれました。

## ● 本プログラムの対象分野

下記の3分野を対象としています（複数の分野にわたって取り組む活動も含まれます）。

### 1 ひとづくり

未来をになう子どもや若者たちが、個性豊かに成長し、自立した個人として地域で行う活動など

### 2 まちづくり

生活の場としての居住地や商店街などを魅力的な空間とし、自然や歴史を生かした住みよい地域環境をつくる活動など

### 3 暮らしづくり

地域に生きる人が、さまざまな障がいや困難を乗り越えて地域社会に積極的に係わり、安心して自立した生活を実現するための活動など

## ● 重視する活動

### 1

自らの地域をよりよくするために、さまざまな人が自発的に参加する活動

### 2

はたらく人が、自らの経験を活かして参加する活動

### 3

地域のさまざまな団体が連携し、参加する活動

## ● 選考委員会

※敬称略 所属名は選考委員会開催時点（2014年3月）

- 選考委員長 赤塚 光子 （特定非営利活動法人全国障害者生活支援研究会 会長 / 元立教大学 教授）
- 選考委員 遠藤 幸男 （東京労働者福祉協議会 会長）
- 選考委員 徳田 太郎 （つくば市民大学（ユニベルシタスつくば） 代表幹事）
- 選考委員 星野 智子 （一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事）
- 選考委員 吉野 裕之 （一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団 チーフ・プログラム・オフィサー）
- 選考委員 岩村 真奈美 （中央労働金庫 総合企画部CSR企画 チーフマネージャー）

## ● 予備審査

- |       |                              |   |              |
|-------|------------------------------|---|--------------|
| (茨城)  | 特定非営利活動法人ひたちNPOセンター・with you | / | 中央労働金庫茨城県本部  |
| (栃木)  | 特定非営利活動法人ハイジ                 | / | 中央労働金庫栃木県本部  |
| (群馬)  | 群馬NPO協議会                     | / | 中央労働金庫群馬県本部  |
| (埼玉)  | 認定特定非営利活動法人さいたまNPOセンター       | / | 中央労働金庫埼玉県本部  |
| (千葉)  | 特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ  | / | 中央労働金庫千葉県本部  |
| (東京)  | 東京ボランティア・市民活動センター            | / | 中央労働金庫東京都本部  |
| (神奈川) | 特定非営利活動法人ぐらす・かわさき            | / | 中央労働金庫神奈川県本部 |
| (山梨)  | 特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会         | / | 中央労働金庫山梨県本部  |

## ごあいさつ

未来の財産となる「ひと」を育て、魅力的で住みよい「まち」をつくり、多様な生きかたを認め合う「暮らし」を実現する活動を応援したい。そうした思いから、2002年度に「中央ろうきん助成プログラム」をスタートしました。

このプログラムは、関東エリア1都7県で活動するボランティアグループや市民団体を対象に、活動に必要な財源を「中央ろうきん社会貢献基金※」を通じて助成するもので、特定非営利活動法人市民社会創造ファンドとの協力のもとに企画・運営を行っています。

「ひと」が、それぞれの地域で喜びと誇りを持ってはたらき、活動し、共に生きる。私たちは、「はたらく人の非営利・協同組織の福祉金融機関」として、人々が喜びをもって共生できる社会の実現をめざしています。

今年4月、2014年の選考作業を無事終了することができました。

中央ろうきんをご利用いただいている皆さまへの感謝の気持ちと、一人でも多くの方に「中央ろうきん助成プログラム」の趣旨を知っていただき、そして、ご活用いただきたいという思いから、本冊子「2014年選考結果」を作成いたしました。

心をこめて、皆さまにご報告させていただきます。

※中央ろうきん社会貢献基金とは

福祉・環境および文化にかかわる助成、支援活動を通じて、人々が共生できる社会の実現に資することを目的に設立（2002年4月1日）。はたらく人の団体、広く市民の参加による団体に対する助成・支援活動とそのために必要な事業を実施しています。



## ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

# 2014年助成の 選考について

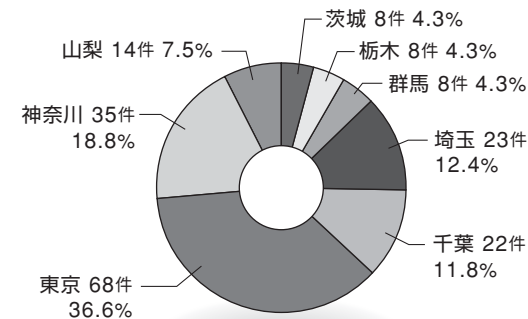


## 選考委員長による選後評

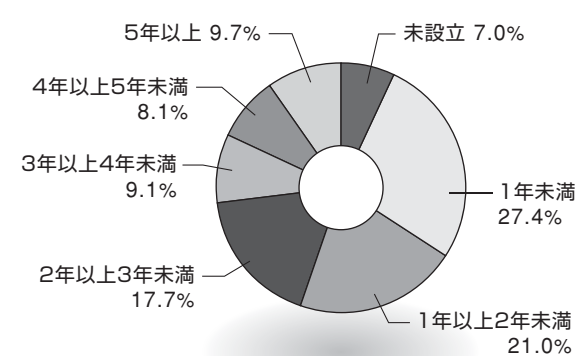
選考委員長 赤塚 光子 (特定非営利活動法人全国障害者生活支援研究会 会長 / 元立教大学 教授)

※スタート助成1年目(186件)を対象として集計

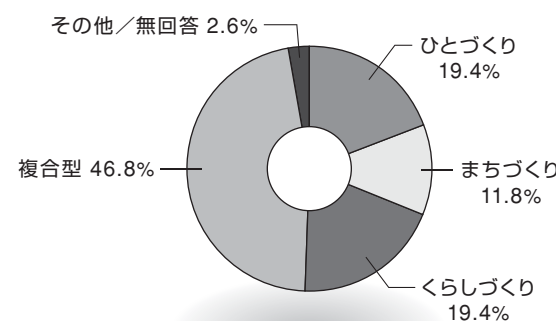
### <地域別応募状況>



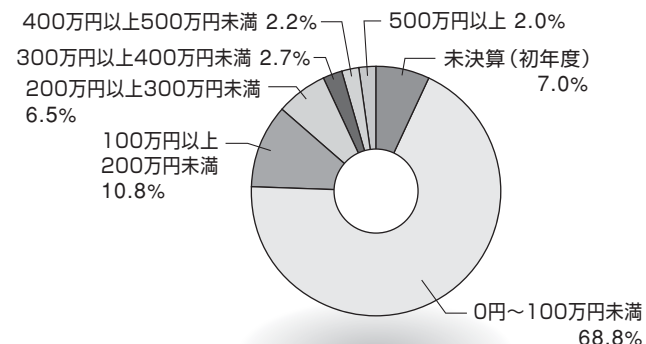
### <応募団体の活動年数>



### <活動分野別応募状況>



### <応募団体の支出規模>



#### [分類]

- ひとづくり  
未来をになう子どもや若者たちが、個性豊かに成長し、自立した個人として地域で行う活動 など
- まちづくり  
生活の場としての居住地や商店街などを魅力的な空間とし、自然や歴史を生かした住みよい地域環境をつくる活動 など
- くらしづくり  
地域に生きる人が、さまざまな障害や困難を乗り越えて地域社会に積極的に係わり、安心し自立した生活を実現するための活動 など
- 複合型  
他分野との複合により、上記1~3の分野に関連する活動 など

### ●都県別の応募数・本審査対象数・選考結果

都県名	スタート助成・1年目			スタート助成・2年目			スタート助成・3年目			ステップアップ助成			採択数 合計
	応募	本審	結果	応募	本審	結果	応募	本審	結果	応募	本審	結果	
茨城	8	4	1	4	4	2	1	1	0	0	0	0	3
栃木	8	4	2	2	2	2	0	0	0	1	1	1	5
群馬	8	4	2	1	1	0	1	1	1	0	0	0	3
埼玉	23	7	4	4	4	3	1	0	0	0	0	0	7
千葉	22	7	4	3	3	2	2	1	1	0	0	0	7
東京	68	17	10	6	6	5	3	2	1	1	1	1	17
神奈川	35	11	4	4	3	3	2	2	2	0	0	0	9
山梨	14	5	1	3	3	3	1	1	1	2	2	1	6
合計	186	59	28	27	26	20	11	8	6	4	4	3	57

## 地域に拡がる、地域をつくる市民活動の展開を!

中央ろうきん助成プログラム「個性が輝く“ひと・まち・くらし”づくり」の、2014年助成対象団体を決定いたしました。

今年の応募総数は、228件でした。予備審査を経て本審査対象となったスタート助成1年目の応募案件が59件、助成2年目は26件、これらに助成3年目の8件、ステップアップ助成の4件を加えた97件について、2日間かけて本審査を実施いたしました。本審査においては、応募書類やプレゼンテーションからびんびんと伝わってくる活動内容の有用性、団体の熱意などをしっかりと受けとめながら選考にあたり、結果、スタート助成1年目を28件、2年目を20件、3年目を6件、ステップアップ助成を3件、採択といたしました。採択された計57件の助成対象団体におかれましては、すべての応募団体を代表する気概をもった取り組みをお願いし、また期待しているところです。

さて、本プログラムは、(1)ひとづくり、(2)まちづくり、(3)くらしづくりの3分野を対象としていますが、複数の分野にわたる活動も歓迎しています。応募状況を見ると、当初から分野をまたがる活動内容も多数見られます。活動開始時の入り口は何であれ、“ひとの支援”は“くらしの支援”であり、“くらしやすいまちづくり”につながっていること、また、“まちづくり”は、“ひとのくらし”の安心につながるものであることを実感させられます。

“ひと”の例をあげると、その対象は発達に難しさがある子どもやそのご家族、さまざまな障害があることで社会参加が容易でない人たち、年齢を重ねて生活上で不自由なことが多くなった人たち、異なる言語や文化によって困難を抱えている外国人市民、家族の介護に疲れている人たちなど、具体的な支援や理解をすぐにも必要としている人たちです。本プログラムで対象となった市民活動団体は、さまざまに組み立てたプロジェクトを実践し、“ひとのくらし”を支え、それが“まちづくり”につながっています。また、直接的に求められている支援者となる人材を育成しようという試みや、地域の活性化を目指す活動などの多様な展開もみられます。

選考委員会では、これらの活動の先進性、柔軟性などが高く評価されました。しかし以下のような助言もなされています。それは、地域づくりという視点での拡がりを考えることやそのために地域での連携や協働などをより進める視点の重要性です。さらに、熱心さのあまり自分たちの活動に埋没してしまわないように活動を客観視できる状況をつくること、それには、他の市民活動団体の取り組みを知ることや学ぶことなども大切ではないかという指摘もありました。

1年目から2年目、3年目、さらにステップアップ助成へと、一緒に歩むことができるのが中央ろうきん助成プログラムの特徴です。年次の成果報告を、楽しみにしております。

# 2014年助成対象一覧

<スタート助成・1年目：28件> 活動開始資金／1団体上限30万円

	都県名	活動名	団体名	代表者名	活動対象地域	助成額
1	茨城	ちゃんみよTVで地域を一つの大きな家族に！インターネット放送による草の根情報発信	チームちゃんみよTV	綾部 みよ	牛久市	30万円
2	栃木	シングルママの「キラッ!ピカッ!ラーニング」と子どもたちのための学習支援「ビーズ園」	特定非営利活動法人 コドモネットらくだーず	宮路 順子	栃木県全域 (主に宇都宮市 を中心とする)	30万円
3	栃木	自死(自殺)が起きた後に生ずる遺族の困難に関する実態調査	空と窓の会	荻野 夏子	宇都宮市 (対象は全国)	30万円
4	群馬	生活支援ボランティア育成事業	ぼっかぼかくらぶ	目崎智恵子	高崎市	30万円
5	群馬	古民家で3世代交流コミュニティづくり活動	特定非営利活動法人 思いをつなぐ会	葛西 詔子	高崎市	30万円
6	埼玉	高齢者の買い物支援と孤立化防止を行いながら商店街を活性化する買い物ツアー	熊谷安心お助け隊	服部 昌夫	熊谷市	30万円
7	埼玉	コミュニティカフェを拠点とした、生活困難家庭児童生徒への学習支援活動	チームひだまり	上菘 礼子	川越市、 鶴ヶ島市	30万円
8	埼玉	市民による緑の森博物館所沢市分 雑木林再生プロジェクト	グリーン・フォレスト・ ネットワーク所沢	齊藤 幸子	所沢市	30万円
9	埼玉	フットサル交流事業	特定非営利活動法人 ソーシャル・クリエイターズ	竹内 善太	川越市、ふじみ 野市、富士見市、 志木市、新座市	30万円
10	千葉	介護者への支援～地域で支えながら介護家族が安心して暮らせる地域を目指して～	介護者支援の会 みちくさ	布川佐登美	柏市	30万円
11	千葉	街の支援室開設事業	特定非営利活動法人 EPO	小山 徹信	千葉市緑区	27万円
12	千葉	まちづくりがきっかけでよくなる 土気NGO まちづくり実践塾	特定非営利活動法人 土気NGO	武田 伸也	千葉市	28万円
13	千葉	子どもの発達凸凹に悩む方の駆け込み寺 ほっとカフェ事業～仲間に出会える場、話を 聴いてもらえる場、情報ステーションとして～	特定非営利活動法人 たからばこ	武田 由美	南房総市、 館山市、鴨川市、 鋸南町	30万円
14	東京	発達障害の学生(18歳から22歳)の 森林資源を活用した就業支援活動	一般社団法人 森林資源活用推進協会	森田 千史	千葉県 君津市大鷲	30万円
15	東京	視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ inヨコハマトリエンナーレ2014	視覚障害者とつくる 美術鑑賞ワークショップ	林 建太	横浜市	30万円
16	東京	ケアと労働について対話する 「シネマ哲学カフェ」	特定非営利活動法人多様性と境界 に関する対話と表現の研究所	長津結一郎	港区	30万円
17	東京	展覧会「(仮)中野の住まいを伝える たてもの展」+ 記録書籍の刊行	中野たてもの応援団	小西 敏正	中野区と その周辺	29万円
18	東京	不登校児童の体験学習プロジェクト 「食を楽しむ時間」	フリースクール多摩川	吉川 尚	府中市、立川市、 群馬県甘楽郡 下仁田町	30万円
19	東京	モノづくりサロン	モノづくりサロン	河原由香里	1都7県	21万円
20	東京	おおた若者自立塾	フェイスコミュニティ	濱住 邦彦	大田区	30万円

	都県名	活動名	団体名	代表者名	活動対象地域	助成額
21	東京	青少年と地域住民による「社会課題 解決策共創」	特定非営利活動法人 THOUSAND-PORT	鈴木 篤司	墨田区	30万円
22	東京	LGBT(性的マイノリティ)学生を 包括したキャリア育成講座	特定非営利活動法人 ReBit	薬師 実芳	東京都を中心 とした関東全域	30万円
23	東京	訪問大学「おおきなき」(重度の障がいを持つ 方の特別支援学校卒業後の生涯学習の支援)	おおきなき	相澤 純一	東京都23区内 (大田区近郊)	27万円
24	神奈川	まち探検!! こども新聞記者クラブ	特定非営利活動法人 夢キューブ	高橋 純子	足柄上郡周辺 (南足柄市言む 1市5町)	16万円
25	神奈川	多文化カルチャー講座の提供事業	Sharing Caring CULTURE	三坂 慶子	横浜市都筑区	30万円
26	神奈川	若手社会人のためのボランティア ハンドブック(仮称)づくり	横浜アクションプランナー	高城 芳之	横浜市	30万円
27	神奈川	逗子まちのご保育プロジェクト	逗子まちのご保育 プロジェクト	井上 亮子	逗子市	30万円
28	山梨	子ども・若者 ソーシャルビジネス学校	bond place	小笠原祐司	山梨県全域	30万円
						計 808万円



<スタート助成・2年目：20件> 活動開始資金／1団体上限30万円

都県名	活動名	団体名	代表者名	活動対象地域	助成額
茨城	環境教育+(プラス)から協働の輪へつなげよう!	特定非営利活動法人 ネイチャークラブにいはり	立川 周二	土浦市新治地区	30万円
茨城	古民家「華の幹」の再生からはじめる筑波山麓活性化モデル事業	特定非営利活動法人 華の幹	飯塚 洋子	つくば市および周辺市町村	30万円
栃木	日本語で もっとつながれココロの輪	にほんご Friendly Class	柿沼 亮子	鹿沼市	30万円
栃木	「出張」ステンドグラスワークショップによる地域福祉の向上に向けた相互交流の創出	特定非営利活動法人地域生活相互支援 大山田ノンフェール・くらねえ	野毛 一起	那珂川町	30万円
埼玉	農業ボランティアと福祉施設への食材支援を行う「農・福支援活動」	特定非営利活動法人 農家支援倶楽部	武田 篤	久喜市周辺地域	30万円
埼玉	「夜の世界に関わっていた過去」を消す取り組みを通して元当事者と行う、セカンドキャリア支援と相談事業	一般社団法人 GrowAsPeople	角間惇一郎	越谷市、さいたま市、東京都内23区	30万円
埼玉	青少年多文化学び教室	青少年多文化学びサポート	持丸 邦子	所沢市および近隣地域	30万円
千葉	プレーパークから繋がるあそびと地域の環	成田おむすびプレーパーク	小川奈緒子	成田市	28万円
千葉	～世代・障がいを越えて気づき学びあう～ 「大学生ギアチェンジ・プログラム」	CHIEの輪	阿部 剛	松戸市	28万円
東京	「映画でまちを再発見」@キネマフューチャーセンター	特定非営利活動法人 ワップフィルム	高橋 和勸	大田区	30万円
東京	現代の多様化する家族が暮らしやすい世の中へ～血の繋がりを越えた絆づくり～新しい家族の在り方	特定非営利活動法人 M-STEP	平田 えり	東京都23区及び多摩地区	30万円
東京	若年認知症家族交流会事業	特定非営利活動法人若年認知症交流会小さな旅人たちの会	高橋恵美子	中野区、杉並区	30万円
東京	世代間交流会「ホームシェア・ランチ会」(世代間交流ホームシェア事業の助走として)	特定非営利活動法人 リブ&リブ	石橋 鉄子	東京都全域(首都圏)	30万円
東京	自転車タクシーを活用した高齢者等の外出応援プロジェクト	特定非営利活動法人 みらくる	三好 義仁	葛飾区	30万円
神奈川	住んでいる街に、手づくりの子育ての安心感を広げよう。土と水と草といきものとともに、親子で育ち合おう。	青空保育 ペんぺんぐさ	井上 香織	横浜市青葉区	30万円
神奈川	「ひらがな商店街を探せ! PART2」-商店街の物語を書籍化-	ひらがな商店街アールスペース「と」まちづくりプロジェクト	阿部 太一	横浜市	28万円
神奈川	小学校等における地域の海の環境教育の実践とその普及浸透のための教師・学校・地域の理解増進活動	特定非営利活動法人 ディスカバーブルー	水井 涼太	神奈川県	30万円
山梨	高齢ろうあ者いきいきサロン	特定非営利活動法人楽しく笑って人生を過ごす山梨手話の会	遠藤なおみ	山梨県全域	30万円
山梨	虐待防止・抑制に向けての虐待や子育てに悩む保護者に対する支援事業	山梨子ども虐待防止ネット チャイルドファーストやまなし	吉田利志美	山梨県全域	30万円
山梨	ひとり親家庭に対する自立支援	特定非営利活動法人山梨県ひとり親家庭自立支援センターひとり親ネット	佐野 臣功	甲府市及び周辺自治体	30万円
					計 594万円



<スタート助成・3年目：6件> 活動開始資金／1団体上限30万円

都県名	活動名	団体名	代表者名	活動対象地域	助成額
群馬	精神疾患の当事者による「当事者研究」およびピアサポート活動	群馬当事者研究会 ピアリンク	柳 春海	伊勢崎市及びその周辺地域	30万円
千葉	市川冒険あそびぼ	市川子どもの外遊びの会	和田 京子	市川市	30万円
東京	発達凸凹を抱える子とその家族の幸せプロジェクト	特定非営利活動法人発達凸凹サポートデザインかたつむり	西村南海子	八王子市・町田市・多摩市・立川市	28万円
神奈川	地域に共に生きる外国人たちの安心して自立した生活へのサポート事業	ひまわりの会	伊藤 真	横浜市中心	30万円
神奈川	コミュニティカフェを基盤とした生き難さを抱える人たちの支援の場づくり	特定非営利活動法人 スペースナナ	柴田 暁子	横浜市	25万円
山梨	子育て支援 楽つみ木ワークショップで地域とつながるキャラバン活動	ピア コミュニティ nuku nuku	宮下奈津子	甲府市周辺	25万円
					計 168万円



<ステップアップ助成：3件> 活動展開資金／1団体上限100万円

都県名	活動名	団体名	代表者名	活動対象地域	助成額
栃木	自閉症支援者を支援する～支え合いの場、NPO法人化へ～	あるべき支援を考える会	堀口 千恵	栃木県全域	100万円
東京	介護者支援プロジェクトⅣ～医療連携型認知症カフェを地域に開く～	特定非営利活動法人 杉並介護者応援団	北原理良子	杉並区	100万円
山梨	障害者の孤立防止と社会参加促進事業	特定非営利活動法人 バーチャル工房やまなし	小野 智弘	山梨県全域	100万円
					計 300万円

※2014年4月現在。活動名は一部変更となる場合がございます。



# スタート助成・3年目／ステップアップ助成 対象案件の概要



## 精神疾患の当事者による「当事者研究」およびピアサポート活動

群馬県

### 群馬当事者研究会ピアリンク

精神疾患をはじめとする生きづらさを抱える当事者同士が集まり、当事者研究を通じて繋がるの場を作る活動を行う団体(2011年設立)。

2ヵ年のスタート助成を受け、当事者自身が自らの生きづらさについて研究することにより自己理解を促し、仲間づくりを促進する「当事者研究会」と当事者限定の茶話会「当事者研究Cafe」の運営に取り組んだ。3年目は、この研究会とCafeの月一回の定期開催とともに、これまでの当事者研究の経験をもとにしたメンバーによる講演活動やピアサポート活動を実践している他団体へ赴き、活動の見学、出張当事者研究を行う。これらの活動を通じて団体の基盤を整備することにより、ピアサポート活動の拠点づくりを目指す。



## 市川冒険あそびぼ

千葉県



### 市川子どもの外遊びの会

子どもが自らの責任で自由に遊ぶ事ができる外遊びの場として、プレーパークを地域とともに作り、その運営や運営するメンバーの研修事業および広報活動を行う団体(2011年設立)。

2ヵ年のスタート助成を受け、これまで不定期であったプレーパークの月1回の定期開催や乳幼児向けのプレーパークの実施、そしてプレーパークの参加者から活動の担い手へと育成する取り組みを行った。3年目は、プレーパークの定期開催回数を月1回から月2回に増やし、また、乳幼児向けのプレーパークを開催し、参

加年齢層の幅を広げる。あわせて担い手であるプレーワーカーの養成講座も実施する。将来的にプレーパークの常設化に向けて理解者や協力者を増やしなが、地域や行政との連携強化をはかる。

## 発達凸凹を抱える子とその家族の幸せプロジェクト

東京都

### 特定非営利活動法人 発達凸凹サポートデザインかたつむり

発達のつまずきや情緒のアンバランスさを抱える子ども達(発達凸凹を抱えた子ども)を地域で支え、自立していくための多角的なサポートを行う団体(2007年設立)。

2ヵ年のスタート助成を受け、未就学児とその親を対象に、音楽を感じながら体を動かす「クリエイティブ音楽ムーブメント」を開催するとともに、発達凸凹を抱えた子どもたちを育てる母親のための連続講座を実施した。3年目は、引き続き「ク



リエイティブ音楽ムーブメント」の連続プログラムや母親のための講座の実施とともに、これまでの講座受講者の中からピアメンターを育成する講座を新たに行う。参加者同士が共に支え合う繋がるの場を充実させ、会員の増強をはかりながら自立した事業展開を目指す。

## 地域に共に生きる外国人たちの安心して自立した生活へのサポート事業

神奈川県

### ひまわりの会

文化や習慣の違いにより様々な障害や困難に立ち向かっている地域の外国人に対し、地域で共に生きるために様々なサポートを行うことを目的とした団体(2009年設立)。

2ヵ年のスタート助成を受け、地域に住む外国人の子どもたちの学習サポートに加えて保護者向けに日本語教室や子育て支援を行った。3年目は、日本語を話せない子どもたちが地域で増えていることを背景に、特に高校進学を目指す子どもたちの学習サポートに力を入れる。ボランティア体制の整備を行い、子どもの語学力や学習レベルに寄り添ったサポートとあわせて日本文化についても学べる機会を提供するなど、支援事業の基盤固めに取り組む。



## コミュニティカフェを基盤とした生き難さを抱える人たちの支援の場づくり

神奈川県



### 特定非営利活動法人 スペースナナ

横浜市青葉区にオープンしたコミュニティカフェを拠点に、世代や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もが安心して交流できる場づくりを行う団体(2010年設立)。

2ヵ年のスタート助成を受け、連続講座「地域でゆるやかに支え合う場をつくろう」を実施してきた。1年目は、障がいを持つ子どもたちとその家族、また引きこもり当事者や家族などがつながることをテーマに、2年目は、支援の手が届きにくい若者たちの問題をテーマに取り上げ、各専門家や支援団体とのネットワークを築いてきた。3年目は、社会的包摂をテーマに連続講座を実施する。講座の最終回には、困りごとを抱える人たちと何かを始めたい人とを繋げる「困りごとワークショップ」を実施し、参加者同士のネットワークづくりを目指す。

## 子育て支援 楽つみ木ワークショップで地域とつながるキャラバン活動

山梨県

### ピア コミュニティ nuku nuku

主に病気や障がいを抱えた子どもを育てる家族が安心して集える地域コミュニティの場の提供と一人一人に寄り添える相談の場や情報ネットワークの充実を目的とした団体(2011年設立)。

2ヵ年のスタート助成を受け、つみ木を使った療育活動「楽つみ木」ワークショップを実施し子どもとその家族、そして参加者同士の交流をはかってきた。また、「楽つみ木」の魅力と障がいに対する理解を広めるため、「キャラバン隊活動」として支援学校でのワークショップの実施や地域イベントへの参加など、活動を外部に発信する取り組みを行った。3年目は、この「キャラバン隊活動」をさらに発展させ「楽つみ木」ワークショップを保育所や公民館、障がい者施設等で実施し、地域連携の一步につなげる。より地域に根差した活動を展開することで、子どもたちの将来を支える地域の基盤づくりに取り組む。



## 自閉症支援者を支援する～支え合いの場、NPO 法人化へ～

栃木県

### あるべき支援を考える会

自閉症支援者が、職場や職種を超えて各々の現場で抱えている課題を共有し、元気に前向きに支援に取り組めるよう支え合う仕組み作りを目的とした団体(2007年設立)。

3ヵ年のスタート助成を受け、活動継続のために自立採算に向けた体制づくりに取り組んだ。主軸の活動となる自閉症セミナーや定期勉強会は、団体の自主運営で計画的に実施可能となり、各機関からの共催協力や広報協力も継続的に得られるまでに至った。また自閉症支援者のためのカフェミーティング「ほっとひといきカフェ」では、支援者自らが語る魅力的で意味のある実践内容をお互いに共有することで、前向きに仕事に取り組むパワーを生み出す機会となっている。

ステップアップ助成では、これまで培ってきた支援者支援のノウハウを集約及び整理し、再発信できる団体として、さらには地域で支援が困難とされているケースにも対応できる団体として成長するために、実施スタッフのスキルアップを図る。また行政や関係機関と協働していけるよう組織基盤を整え、NPO法人の取得を目指す。選考委員会では、着実に事業展開を図りながら、地域での信頼を獲得し、次の目標に向けて組織体制を強化する試みが評価された。団体が担うべき役割や将来ビジョンを再確認しながら、一步一步足元を固めつつ活動を展開していくことを期待し応援したい。



## 障害者の孤立防止と社会参加促進事業

山梨県

### 特定非営利活動法人 パーチャル工房やまなし

重度障がい者が自宅に居ながらも、ICT技術を活用することで社会との繋がりを持ち、仕事を得て働くことにより、社会的・経済的・精神的にも自立する支援と、そのためのICT技術の向上、利活用の支援を行う団体(2009年設立)。

3ヵ年のスタート助成を受け、障がい者がICT技術による在宅就労に必要な支援を得るために、①在宅就労セミナーやICTの技術講習会の開催、②山梨県下のイベントへの参加、③ホームページやソーシャルメディアの活用による広報活動等に取り組んだ。その成果としてICT技術による在宅就労の理解が障がい者自身にも広まり、また様々な企業や団体とのネットワークも生まれ在宅就労にもつなげることが出来た。

ステップアップ助成では、これまで取り組んできた活動の充実を図るとともに、引きこもりがちな障がい者に対して、地域の人々との交流の場となるコミュニティ広場の開設を目指す。この場に参加する障がい者がお互いに悩みや不安を共有することで孤立感を防ぎ、また地域の人々との交流を通して、社会参加の一步につなげる。選考委員会では、きめ細やかに当事者の支援に取り組み、在宅就労の事例を積み重ねている点が評価された。これまで成し得た事例の検証に取り組み、地域を超えて理解者や賛同者を増やしながらかつ着実に展開していくことを期待し応援したい。



## 介護者支援プロジェクトⅣ～医療連携型認知症カフェを地域に開く～

東京都

### 特定非営利活動法人杉並介護者応援団

介護者・要介護者にとっての地域のたまり場(介護者の会)づくりとその継続的なサポート活動を軸に、行政、専門機関、専門職およびボランティア等との連携をはかり、介護者支援のネットワーク作りを行う団体(2006年設立)。

3ヵ年のスタート助成を受け、男性介護者の支援を目的とした「男性介護者の会」や「晩めし屋」の立ち上げと運営、さらにこの活動を継続して実施できるよう、スタッフの養成研修にも取り組んだ。また3年目には高齢者虐待予防・防止として、地域包括支援センターと連携し、虐待ゼロキャラバン隊による劇の出前上演

を行い、小学生や介護の必要のない若い世代、また関係機関や専門職など多くの対象者に向けて広く周知を図った。

ステップアップ助成では、杉並区内において、専門病院で認知症の確定診断を受けた患者の家族を速やかに介護者の会につなげるための仕組みづくりと、その中核として誰もが気軽に立ち寄れる医療連携型認知症カフェの立ち上げを目指す。選考委員会では、介護者支援に必要とされるニーズを上手にキャッチし、多様な関係機関と連携しながら着実に活動を展開している点が評価された。幅広い活動に対応できるようスタッフ体制も充実させながら組織基盤の安定を図り、先駆的なモデルとして全国に発信していくことを期待し応援したい。



# 予備審査 担当者所感

応募を受け付けたスタート助成224件全てに対し、都県ごとに予備審査を実施いたしました。予備審査に参加した各地域のNPO支援組織と中央労働金庫都県本部の、それぞれの担当者所感を掲載いたします。



## 茨城県

### 特定非営利活動法人 ひたちNPOセンター・with you

今年は、スタート助成1年目の応募件数がとても少なく残念に思いました。しかし、2年目・3年目の応募団体については、充実した素晴らしい活動実績を残しており、成長の跡が見られ、ステップアップ助成にふさわしい内容のものが多かったように思いました。今後が楽しみです。予備審査で重視したことは、助成後も活動の発展があり、波及効果が予想されるかどうかという点でした。

### 中央ろうきん 茨城県本部

団体の活動内容を知る程に、活動の内容や目線は、人づくり・地域の絆によるまちおこし等、日本社会が現在抱える課題に目を向けているのだと感じました。それは、一步一步地域社会に必要な活動を展開し、地域の中で、今何が必要なのかを教えてくれています。各団体が地域に関わり、人に関わりながら社会を支えている活動は、多岐にわたっています。それは、高齢者・子育て支援等から地域活性化と幅広い活動となっております。一気には広げられないものばかりでした。一気に広がることはないけれども地道に汗を流しながら積み重ねた活動は、さまざまな形で地域へインパクトを与えていると感じました。

応募いただいた全ての団体の更なる発展と活動を通して地域の新たな扉が開かれることを心よりお祈りいたします。



## 群馬県

### 群馬NPO協議会

いずれも、このような活動が地域にあれば良いのと思わせる、社会のニーズを捉えた応募でしたので大変迷いました。事業の共感性や波及性等、“より助成金が生きる”という観点で審査に臨みました。応募書類から熱意が伝わるものが多い中、本当に実現可能だろうかと気になる団体もありました。読み手が納得しやすいようアピールする必要があると思います。

頑張れば4年間助成を受けることができるので、それを見通したビジョンを持って応募することを期待します。継続して応募する団体が少ないのは残念です。

### 中央ろうきん 群馬県本部

各団体の皆様からいただいたのご応募も、現場を知り、多様化する市民ニーズに応じていくために、創造性、柔軟性を持ち活動されてきた素晴らしい提案だと思いました。皆様の日々の活動に改めて敬意を表したいというのが正直な気持ちです。

審査をする上で、今回特に重きを置いた点は、より良い「ひと・まち・くらしづくり」のためにその活動が一つの組織に留まらず、地域への貢献といった意味でどれだけ波及していくかという事を重視しました。

団体の皆様の活動が今後一段と大きく発展し、地域社会の未来に貢献される事を期待致します。



## 栃木県

### 特定非営利活動法人 ハイジ

予備審査では、“次世代の「ひと・まち・くらしづくり」につながるような点を重視しました。ふだんの暮らしの中で、人と人との支え合いでコミュニケーションを豊かにし、安心して暮らせるまちにしようという主体的な活動を応援したいと思います。

社会問題に取り組みは始める最初の一步は小さいものかもしれませんが、支援者を増やし、巻きこみながら共に歩み続けることを願っております。

### 中央ろうきん 栃木県本部

今日、NPO活動は多岐にわたっています。しかしながら、活動内容は違っていても根底にあるのは「つながりを大切にすること」であることを改めて実感しました。

それぞれの活動を通じて積極的に地域と関わっていくことで、本当の意味での「ひとづくり」「まちづくり」「くらしづくり」につながり、地域の豊かさの創造に寄与していくものと思います。

全ての応募団体へ助成出来ないことは大変残念でありませんが、各団体の今後の発展を祈念するとともに、目的達成に向けてくろうきんも協力出来れば幸いです。



## 埼玉県

### 認定特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター

埼玉県内ではNPO法人の設立数は増加しているため、昨年に比べて応募数が少ないのは意外でした。各団体とも目的には公益性があり頑張っていたきたい活動内容でしたが、地域の新しいニーズや課題と思われるような活動に取り組んでいく事業から優先的に選ばざるをえませんでした。また、複数年にわたって助成を受けられるのがこのプログラムの特徴ですが、その視点をもって3年後にはこうありたいと計画を立てている団体が少ないように感じました。せっかくなので、この助成プログラムへの応募をきっかけに3年後の自分たちの姿も考えてみてはどうでしょうか。

### 中央ろうきん 埼玉県本部

埼玉県内のNPOやボランティア団体の活動内容が、あらゆる分野にわたっており、行政の目や制度の手が届かないところで取り組みがなされ、現代社会が直面している様々な問題を可視化させたいという団体が多かったです。

応募された全ての団体が、これからも地域社会の課題に対して、積極的に関わり続けることが重要だと思っています。

今回、助成対象となった団体、残念ながら対象とならなかった団体も含めて、地域で一体となった取り組みがより発展することを期待しています。



# 予備審査

担当者所感



## 特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

いずれの応募内容も、公的な制度やサービスでは対応しきれない地域課題に対応し、団体の独自性、専門性を活かした意欲的なものでした。なかでも、障がい児を含む子どもの育成支援に関わる事業で、遊具等の器材を購入し、より充実した内容での事業実現を目指すといった提案が複数あり、事業の必要性を感じました。スタート助成2年目の事業は、1年目の事業成果や課題に基づいた提案内容となっており、前向きな姿勢が見られました。これまで、当団体と交流の無かった団体も多く、市民活動の広がりを感じることができました。

## 中央ろうきん 千葉県本部

予備審査は今年も悩み多きものとなりました。応募された皆さまの情熱と思いが詰まった案件を審査させていただくことは楽しくもありますが、また多数の応募の中から本審査へ進む案件を選出することは、「あちらも取り上げたい」、「こちらも取り上げたい」となってしまう、苦労をいたしました。

助成対象となった団体はもちろんのこと、このたび残念な結果となられた団体におきましても、これにめげることなく来年も再チャレンジされることを願っております。

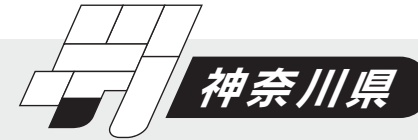


## 東京ボランティア・市民活動センター

多様な参加者と交わる中で団体も成長していったり、参加者同士の参加後のネットワークづくりにつながったり、異なる分野の活動や商店街、観光、大学といった市民活動以外の事業など、思わぬ個人・団体と関わりが持てたり。このような、地域の中で、また地域を越えても「コミュニティ」がより豊かになっていきそうな、応募書類の活動・事業を拝見してわくわくしました。各団体の取り組みのその後についても、ぜひうかがえるのを楽しみにしています。

## 中央ろうきん 東京都本部

東京地区のスタート助成77件の「予備審査」を担当しました。行政の手が届かない分野での取り組み、これがなかなか難しいですね。財政面での苦労もひとしおです。賛同者を増やし、担い手を増やしながらか事業を進めていく。「継続こそ力なり」の精神で、地道に、そして着実に取り組んでいただければと思います。今後のご発展を期待しています。



## 特定非営利活動法人 ぐらす・かわさき

高齢化社会へ向けた取り組みや、子育てに関すること、地域づくりなど様々な提案があり、どの応募内容も素晴らしいものでした。多くの方が地域での課題を解決するために取り組んでいる、その表れだと感じました。

その中で、応募要項に書かれている対象分野、重視する活動がきちんと書かれていること、取り組みの中で得られる成果や将来像が応募書類の中に具体的に描かれていることがとても大切だと改めて思います。「中央ろうきん助成プログラム」に応募してくださった団体が、この機会を通じて、さらに活動を広めていくことを期待しています。

## 中央ろうきん 神奈川県本部

予備審査を通じて、高齢者や障がい者の支援や子育てなど、様々な分野でより住みよい地域づくりに向けて日々奮闘されている団体が本当に多いことを知ることができました。そして、私自身、地域の問題について考えていくきっかけをいただけたと思っています。

このプログラムを通じて、各団体の活動がさらに飛躍し、地域における“ひと・まち・くらしづくり”の発展につながれば幸いです。

最後に、今回応募いただきました全ての団体の更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。



## 特定非営利活動法人 山梨県ボランティア協会

山紫水明で自然豊かな環境に恵まれた山梨県ですが、里山の森の荒廃や高齢化による後継者不足や限界集落・耕作放棄などの多くの課題があり、それらの課題と向き合い、プラス発想でプログラムを開発した事業が目立ちました。また、応募内容に共通して言えることは、人と人をつなげ、地域再生への生き甲斐を見出して、学び合いから生まれる新たな価値を創出しようという取り組みばかりであることです。

人づくり、地域づくりを旨とした郷土愛に溢れたこれらの事業が、社会資源や人材を広げ、より発展的にいきいきとした魅力あるものとなることを願っています。

## 中央ろうきん 山梨県本部

各団体から寄せられました応募書類を拝見して、環境保護・地域の活性化・育児支援・震災復興などの多分野で県内のNPOやボランティア団体が積極的に地域と関わり、そこに住む人々と関わりながら、様々な困難を乗り越え、多くの方々の「知恵と汗」を結集し、幅広い活動をされていることを改めて知りました。

今回、審査を行う上では、日々活動されている皆さまの熱意が書類の中から伝わり、頭を悩ませましたが、新しい試みに挑戦しているか、助成後も活動の発展性があるかなどを特に重視し審査をしました。

最後に、ご応募いただきました全ての団体の更なる発展を祈念いたします。

# 本審査

## 選考委員 所感



各地域の予備審査を経て、選考委員会を開催いたしました。  
6つの選考基準（地域貢献性、独創性、実現性、参加性、成長性、発展性）  
に基づき選考にあたった、各選考委員の所感を掲載いたします。

### 東京労働者福祉協議会 会長 遠藤 幸男



私の所属する「労働者福祉協議会」は、全国47都道府県に存在し、将来の社会の有り様を「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」とし、それに向かって様々な運動を展開しています。ここ数年の活動のキーワードは、「格差と貧困撲滅」で、雇用や市民生活の破綻といった社会現象に対して、「貸し金業法改正」「割賦販売法改正」「司法修習生の給付制度存続」「生活保護法改悪反対」「生活困窮者自立支援法制定」など、勤労者をはじめとする多くの人々を襲っている苦境・深刻な悩みを真正面から対峙して、何でも相談解決出来る「ライフサポート事業」や国の生活困窮者自立支援モデル事業（パーソナルサポートサービス事業）の請負実践などに取り組んでいます。中央ろうきん助成プログラムは、社会の隅々で起きている諸問題・矛盾に、地域で、真面目に、真剣に、優しさをもって展開されている活動に、一定の活動支援を行っていかうとするものです。まさに、私たち労協協の運動と表裏一体の欠くべからざる貴重な価値ある営みといえます。今回応募された、1年目、2年目、3年目、ステップアップそれぞれの団体の皆さんの活動は、どれもこれも意義ある、頭の下がるもので、甲乙をつけることに躊躇せざるを得ませんでしたが、選考の如何を問わず、これからも、社会の隅々で、崇高な理念を失わず、熱意と愛情を持って、支援を求めている人々との「連帯と共生」の寄所・居場所としての活動を展開されることを期待します。ともに頑張りましょう。

### つくば市民大学（ユニベルシタスつくば） 代表幹事 徳田 太郎



たまたま向きあうことになった課題や、いつの間にか叶えなくなった理想。そういった「どこからともなく投げかけられた呼びかけ」に、真摯に応答（response）しようとする営みが市民活動というものだとするならば、みなさんから寄せられた企画は、いずれも〈いま・ここ〉において自らの責任（responsibility）を果たそうとする、尊い取り組みばかりでした。しかし、課題の解決策や、理想の実現法は、決して一つではありません。特に、これだけ複雑化・多様化した社会、変化の加速度が増す現代では、思いつきやモノマネでは、なかなかうまくいかないもの。常に「もう一つの解決策」「第三の実現法」を探り続けることが必要です。その時に大切なのは、「自分たちだけで何とかしようと思わない」ことです。ぜひ、さまざまな人と集いあい、問いあい、語りあい、聴きあう場と機会を積極的に設けましょう。行政や社協、企業や生協、学校や地縁団体など、「同じものを違う角度から見る」人たちが思いを持ち寄り、知恵を出しあうことで、企画はさらなる厚みと深みを増すはずで。また、このプログラムの助成団体・応募団体同士で学びあうことも有効です。助成決定団体は、フォローアップ・ミーティングを積極的に活用して、また残念ながら選にもれた団体は、気になる団体のwebサイト等を活用して、多様なやり方・あり方を学んでいただければと思います。

### 一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事 星野 智子



今回も、たくさんの社会課題が取り上げられており、それぞれの活動に熱心に打ち込んでいる様子をうかがうことができました。緊急的な支援を要するもの、長く寄り添う必要があるもの、活動内容はとても多様で同じ基準で選考するには大変苦労しました。継続して応募いただいた案件については、周囲の協力や理解が増えているか、地域の方たちとともに活動が継続・発展しているか、といった点も踏まえて検討しました。新しい応募案件については、周囲の協力団体や関係団体とのつながりが多い、または増える可能性がありそうなどを重視しました。周囲の理解・支援を得るのが困難で、かつ深刻な課題については、いかに周囲の人や組織を巻き込んで、協働のかたちにしていくかがカギだと思います。丁寧に地道に続けている活動に光を当て、多くの理解者が得られるように、この助成金が一助になることを願っています。昨年行ったパートナーミーティングで、助成団体同士の情報交換や、学び合いができたことが、次の活動や提案に活かされているようで、大変嬉しく思いました。同じ活動分野の団体や、活動地域を超えて他地域の団体とのパートナーシップが生まれてきているようです。今後も各地でより多くの笑顔が生まれるよう、皆様の活動に期待しております。

### 一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団 チーフ・プログラム・オフィサー 吉野 裕之



ひとつづくり、まちづくり、くらしづくり。それは、地域を豊かに耕す活動であり、愛着と誇りをもって生活＝日常を営むことができる、そんな地域の新しい価値＝文化を創造する活動だと思います。NPO・市民活動は、制度や市場（行政や企業の活動）を相対化しながら、その外部と内部を行き来します。それは、制度や市場によって対応されない課題に対応します。制度や市場はときにそれを取り込み、ときに置き放ち、変化します。そして、地域は新しい価値＝文化と出会うのだと思います。つまり、NPO・市民活動は、制度や市場と連携し、ときに対立し、制度や市場のありようを変化させ、私たちにとってほんとうに必要な地域や社会を実現していきます。選考を通して、今年も地域や社会の課題に向き合う多くの活動に出会うことができました。助成対象となった団体には、より多くの方を巻き込みながら活動を展開していただきたいと思っています。また、残念ながら助成対象とならなかった団体には、より多くの方々の理解や共感を得られるような工夫も心掛けながら、活動を組み立てていただきたいと思います。最後になりましたが、ご応募いただいたすべての団体に心よりお礼を申し上げます。

### 中央労働金庫 総合企画部CSR企画 チーフマネージャー 岩村 真奈美



今年も多くの団体からご応募いただき、地域のさまざまな課題に取り組む皆様の活動を知ることができました。そして、本プログラムの小さな助成金が、皆様の活動によって地域に循環していることを実感することができ、感謝しています。どの団体も地域の課題と正面から向き合い活動されている様子が応募用紙から読み取れ、選考することが本当に難しく、選考委員会では他の委員の方々とたくさん話し合い悩みました。私自身は、本プログラムが継続助成であることを念頭に置き、活動の成長性や発展性を特に意識し、応募団体の2年後、3年後の様子を思い描き、来年もまた応援したいと思えるかどうかを考えながら選考いたしました。採択された団体の皆様には、応募用紙に書かれた想いの実現に向けた活動を期待しています。また、本プログラムを通じて地域や活動内容を超えた採択団体間のつながりが生まれ、皆様の活動が広がり発展することを祈念しております。そしてまた来年、2年目、3年目、ステップアップへとチャレンジしていただきたいと思っています。



〈対象地域〉  
関東エリア1都7県

〈2014年〉中央ろうきん助成プログラム 応募要項

応援します! 個性が輝く  
“ひと・まち・くらし”づくり

市民活動の新しい芽を、最長4年間支えます。

「ひと」が、それぞれの地域で喜びと誇りを持って働き、活動し、共にいきる――。  
私たちは、そうした人間味ゆたかな社会の実現をめざし、個性が輝く“ひと・まち・くらし”づくりをテーマに助成を行います。  
このプログラムでは、関東エリア1都7県を対象に、未来の財産となる「ひと」を育て、魅力的で住みよい「まち」をつくり、多様な生きかたを認め合う「くらし」を実現する活動を応援します。  
特に、財政規模の比較的小さな団体を対象とし、これからはじまる活動をじっくり支えるプログラムとなっています。  
それぞれの地域で活動しているボランティアグループや市民団体からの応募をお待ちしています。

中央ろうきん社会貢献基金

\*このプログラムは、特定非営利活動法人市民社会創造ファンドの協力のもとに実施しています。  
※「中央ろうきん社会貢献基金」は、中央労働金庫が社会貢献活動の推進を目的として、2002年4月に設立した基金の名称です。

1 対象分野

下記の3分野を対象とします。  
(複数の分野にわたって取り組む活動も歓迎します)

- (1) ひとづくり:  
未来をになう子どもや若者たちが、個性豊かに成長し、自立した個人として地域で行う活動 など
- (2) まちづくり:  
生活の場としての居住地や商店街などを魅力的な空間とし、自然や歴史を生かした住みよい地域環境をつくる活動 など
- (3) くらしづくり:  
地域に生きる人が、さまざまな障害や困難を乗り越えて地域社会に積極的に係わり、安心して自立した生活を実現するための活動 など

2 重視する活動

- (1) 自らの地域をよりよくするために、さまざまな人が自発的に参加する活動
- (2) はたらく人が、自らの経験を活かして参加する活動
- (3) 地域のさまざまな団体が連携し、参加する活動

3 応募期間

2014年1月6日(月)～2014年1月16日(木) (必着)

4 助成対象期間

2014年6月1日～2015年5月31日の期間に行われる活動を助成対象とします。

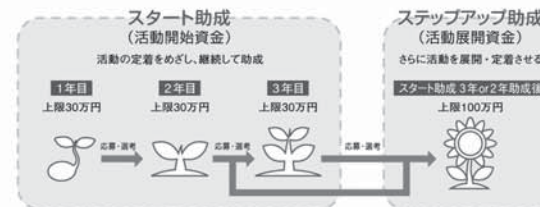
5 助成対象団体

- (1) 1都7県(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川県、山梨)を主たる活動の場としているボランティアグループや市民団体(NPO法人等)  
※上記エリア内で、広域的に活動を行っている団体も対象とします。
- (2) スタート助成は、おおむね団体設立から5年未満(任意団体期間含む)であり、支出規模500万円未満(直近年度実績)の団体を主な対象と想定しています。
- (3) ステップアップ助成は、スタート助成で3年または2年にわたって助成を受けて活動を行った団体が対象です。

6 助成内容

助成総額は概ね2,000万円です。(\*1)  
このプログラムは、地域で新たに活動が開始され、その活動が定着することを願い、最長で4年の助成を受けられる仕組みです。

- (1) スタート助成(活動開始資金)  
1団体 上限30万円  
・新たな活動を開始するための助成で、団体の活動実績を問いません。  
・活動の定着まで最長3年にわたって継続して助成を受けることができます。但し、年ごとに応募し、選考を受けていただきます。
- (2) ステップアップ助成(活動展開資金)  
1団体 上限100万円  
・「スタート助成で3年または2年にわたって助成を受けて活動を行った団体」が、さらにその活動を展開・定着させていくための助成です。



7 対象費目

スタート助成では、活動に必要な直接経費の他、助成額の30%まではスタッフ等の人件費も含めることができます。(なお、ステップアップ助成では、人件費や事務局諸経費などについての上限は特に定めません。)

8 選考方法

- 選考は下記の選考基準に基づいて選考委員会にて行います。
- (1) 地域貢献性: 住みよい地域を実現するもの
  - (2) 独創性: 新しい試みに挑戦するもの
  - (3) 実現性: 計画の意図や内容が実現できる可能性の高いもの
  - (4) 参加性: 2に記載の【重視する活動】を参照
  - (5) 成長性: 活動を通して人も組織も育つもの
  - (6) 発展性: 助成後も活動の発展があり、波及効果が予想されるもの

中央労働金庫(中央ろうきん)  
労働金庫(ろうきん)は、労働組合や生活協同組合のはたらく仲間が、お互いを助け合うために資金を出し合ってきた協同組織の金融機関で、はたらく人たちの暮らしを支え、快適で過ごしやすい社会づくりをめざしています。中央ろうきんは全国に13ある労働金庫のうちの一つで、関東エリア1都7県を対象に事業をしています。

9 「応募要項・用紙」の入手方法

「応募要項・用紙」は以下のいずれかの方法により入手できます。

- ① Webサイト (<http://www.rokin-ikiiki.com/>) からダウンロード。
- ② 最寄の中央ろうきん窓口。
- ③ 2013年12月6日(金)に東京にて開催する「助成金セミナー」への参加。(詳細は上記①のWebサイト参照)

10 応募方法

応募書類(所定の書式による)のみ、折りたたまずに、郵便にてお送りください(持ち込み不可)。なお、選考過程で、必要に応じて聞き取り調査の実施や団体の定款・事業報告書などの提出をお願いすることがあります。  
※お送りいただいた書類は返してきませんので、送付前に必ずコピーをとっておください。

11 選考結果

選考結果は、2014年4月末までに文書にて連絡いたします。なお、採否に関するお問合せには応じられません。

12 助成決定後について

- (1) 団体名、代表者名、所在都県名、活動名、活動概要、活動対象地域、助成金額を公表します。
- (2) 覚書を「中央ろうきん社会貢献基金」と締結し、それに基づいて活動していただきます。
- (3) 贈呈式(2014年5月開催予定)にご出席いただきます。
- (4) 中間報告書と完了報告書をご提出いただきます。
- (5) 中間報告会(2014年12月開催予定)にご出席いただきます。
- (6) 中央ろうきんの社会貢献活動に関する広報活動にご協力願います。

応募書類送付先・問い合わせ先

中央ろうきん社会貢献基金  
(中央労働金庫総合企画部内) 担当: 高瀬・荒原  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5  
フリーダイヤル: 0120-86-6956 (平日9時～18時)  
URL: <http://chuo.rokin.com/>

本プログラムで取得する個人情報につきましては、助成金の選考に必要な範囲で利用し、当基金が責任をもって厳格に管理を行い、担当事務局(中央ろうきん社会貢献基金、中央労働金庫、市民社会創造ファンド)、および選考委員・予備審査担当者以外の第三者に提供することはありません。

特定非営利活動法人市民社会創造ファンド  
日本の非営利セクターの発展を願い、NPOへの望ましい資金循環の実現を図るために日本NPOセンターの活動を継承して設立した組織です(2002年4月発足)。市民活動やNPOへの助成プログラム等の企画・運営などを行っています。  
<http://www.civilfund.org>

# 応募用紙 ※2014年(スタート助成・1年目)用

P1 スタート助成(1年目)

【事務局使用欄】 通番: 受付番号: 14-ス①- 郵便 支店 番号

### 2014年中央ろうきん助成プログラム応募用紙

■ 団体概要 記入日 2014年 1月 日

団体名	代表者			氏名	ふりがな	年齢	( )才
団体住所	〒		E-mail:		TEL:		
団体の設立時期等	1. 設立年	西暦	年	月	支出総額	万円	
団体の活動目的と活動内容	(5行以内でご記入ください)						

■ 応募内容

活動名	対象分野	1. ひとづくり	2. まちづくり	3. くらしづくり
対象地域	都道府県	市町村		
応募担当者	〒	E-mail:		
担当者連絡先	電話:	FAX:		
応募金額	万円 (上限 30万円・1万円未満単位)			

■ スケジュール

年・月	活動の内容など (内容がわかるよう具体的に記入ください)
2014年6月～	
2015年6月以降の展開	

P3 スタート助成(1年目)

【事務局使用欄】 通番: 受付番号: 14-ス①- 郵便 支店 番号

### 2014年中央ろうきん助成プログラム応募用紙

■ 活動の実施体制

氏名	職名	活動における役割	活動対象地域との関わり
			(居住・仕事・その他)
			(居住・仕事・その他)
			(居住・仕事・その他)
			(居住・仕事・その他)
			(居住・仕事・その他)
			(居住・仕事・その他)
			(居住・仕事・その他)

■ 応募金額内訳 (応募する活動を実施するために助成を必要とするもののみをご記入ください)

費目	内容(単価・数量など)	金額(単位:円)

■ 他の助成等について (今回の活動と同一または関連する活動で、今年度応募のものに限りです)

他の助成等への応募	1. あり (ア、結果まち、イ、助成決定) ※ありの場合は、お申し込みの際に併せてお知らせください。	
応募先団体名	2. なし	
応募金額/決定金額	応募金額	円 / 決定金額
実施期間	年 月	～ 年 月

## <2014年プログラムスケジュール>



# 「中央ろうきん助成プログラム」協力団体

- <企画・運営>  
 特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド <http://www.civalfund.org/>
- <広報・予備審査・選考>  
 特定非営利活動法人 ひたちNPOセンター・with you <http://www12.plala.or.jp/NPOWY/>  
 特定非営利活動法人 ハイジ <http://blog.canpan.info/npo-heidi>  
 群馬NPO協議会 <http://gunma-npo-kyougikai.way-nifty.com/>  
 認定特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター <http://www.sa-npo.org/>  
 特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ <http://npoclub.com/>  
 東京ボランティア・市民活動センター <http://www.tvac.or.jp/>  
 特定非営利活動法人 ぐらす・かわさき <http://www.grassk.org/>  
 特定非営利活動法人 山梨県ボランティア協会 <http://www.yva.jp/>

## ろうきんは、働く人を応援しています。

- **ろうきんは、働く人のための非営利の金融機関です**  
 ろうきんは、働く仲間がお互いを助け合うためにつくった、協同組織の金融機関です。国内に金融機関はたくさんありますが、働く人とその家族の暮らしが豊かになることを目的につくられた金融機関は、ろうきんだけ。営利を目的とせず、公平・民主的に運営され、全国で1,000万人の方々に利用されています。
- **ろうきんは、生活者本位に考える金融機関です**  
 ろうきんは、働く人の暮らしを第一に考え、預金やローンなど商品や各種サービスを提供しています。みなさまの大切な預金は、住宅・教育・マイカーなどの資金として、働く人の暮らしを守り豊かにするとともに、NPO活動の促進に向けた支援など、安心・安全な社会をつくるために活かされています。

## ろうきんは、NPOを応援しています。

- ろうきんは、人々が共生できる社会の実現に貢献することを理念に掲げています。新たな公益の担い手として期待されるNPOを、金融サービスと福祉運動の両面から幅広く応援しています。
- **ろうきんNPO事業サポートローン**  
 2000年に国内金融機関初のNPO法人向けの融資制度を創設し、1都7県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川県・山梨)で活動するNPO法人を対象に、運転・設備資金などを融資しています。
  - **ろうきん社会貢献 WEB「いきいきコミュニティ」**  
 社会貢献活動を応援するWEBサイトです。職場や地域で活躍する人や団体の紹介、ボランティア情報やコラム、セミナーのご案内など盛りだくさん。働く人の社会参加、学びと交流を応援します。 <http://www.rokin-ikiiki.com/>
  - **中央ろうきん助成プログラム**  
 ボランティアグループ・市民団体(NPO法人等)を対象に、新たな地域活動のスタートとその定着をサポートする、最長4年の助成制度です。活動開始資金のスタート助成が上限30万円、活動展開資金のステップアップ助成が上限100万円。ステップアップ助成は、「スタート助成で3年または2年にわたって助成を受けて活動を行った団体」を対象としています。テーマは「ひと・まち・くらしづくり」の3分野です。
  - **非営利セクターとのネットワーク**  
 労組・生協・NPOなど、職場や地域の非営利団体と連携し、働く仲間や市民活動に関わる人に役立つセミナーや各種イベントを主催・協賛しています。